

◆モチベーション測定 研修用ワークシート 1

所属部署:

氏名:

人がある行動や判断をする背景にはモチベーションが影響を与えています。まず自らのモチベーションが要因ごとにどのようになっているのかを理解し、次にモチベーションと職務行動との関係を探ることで、自らの行動や判断のクセや傾向を把握してください。その上で格差や不満の解消のための方法を検討します。

理想の高い順に 要因を記入(A)	格差の大きい順 に要因を記入(B)	以下が積極的に解消を図るべき要因	■「+」の格差を解消するため 現状を高めるための課題とは	■「-」の格差を解消するため 理想を高めるための課題とは
1.	1. (+)	【A・Bの1～3に共通する要因】		
2.	2.			
3.	3.			
4.	4.			
5.	5.	【不満領域にある要因】		
6.	6.			
7.	7.			
8.	8. (-)			
<p>■理想の高いモチベーションの要因がどのような行動・判断となっていますか</p>			<p>■不満領域にある要因を改善するための課題・目標を考えてみましょう</p>	
<p>■理想の低いモチベーションの要因がどのような行動・判断を阻んでいますか</p>			<p>■現在は過剰領域、無関心領域にあるものの、将来の自分にとって必要と考えられる要因とその理由は何ですか</p>	

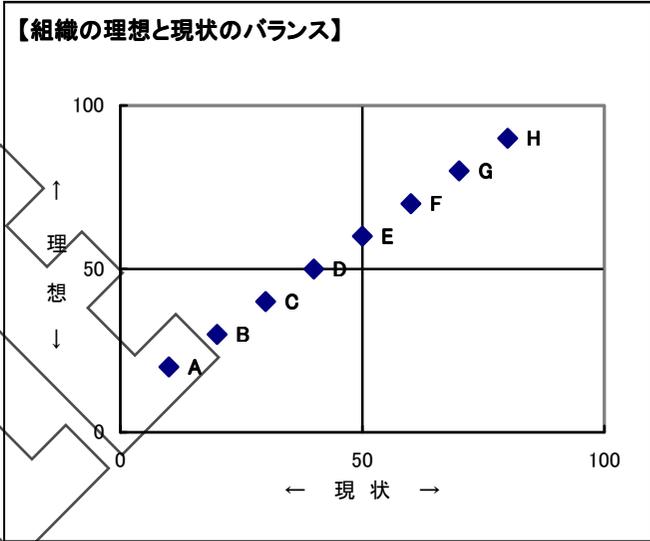
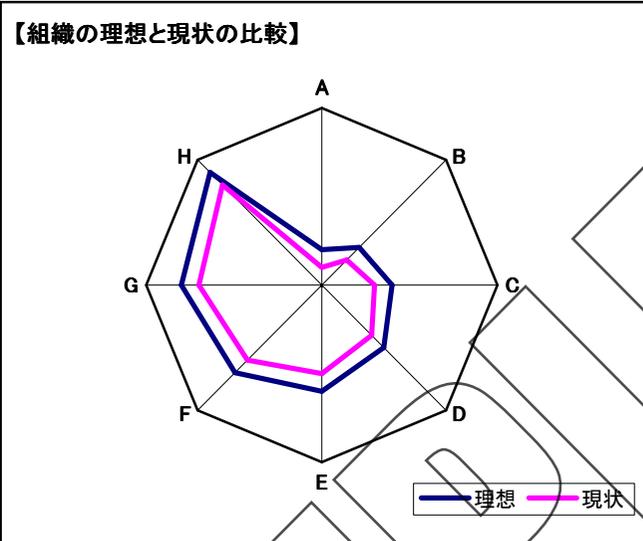
# ◆ワークシート 2

所属部署: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

モチベーションについて組織と個人を比較し、違いが生じる背景を探ります。そして、組織のあるべき姿とメンバーの一員として自分ができる事、なすべき事を考えます

組織の要因	組織の理想	組織の現状	格差
A 専門志向	20	10	10
B 自己表現	30	20	10
C 自立志向	40	30	10
D 人間関係	50	40	10
E 管理志向	60	50	10
F 安定志向	70	60	10
G 評価志向	80	70	10
H 公私充実	90	80	10

個人の要因	個人の理想	個人の現状	格差
A 専門志向			0
B 自己表現			0
C 自立志向			0
D 人間関係			0
E 管理志向			0
F 安定志向			0
G 評価志向			0
H 公私充実			0



あなたが組織の一員としてやりたい事、好きな事、理想的な状態、大切にしたい事とは

あなたが組織の一員としてやりたくない事、嫌いな事、望ましくない状態、重要でない事とは

上記の理由は

上記の理由は

■組織と個人の数値や格差を比較し、顕著に違いがあるモチベーションの要因は何ですか

■以上を踏まえ、組織はどうあるべきと思いますか、またどうあって欲しいと思いますか

■上記の違いをどのような場面で実感しますか、また違いを感じた具体的な事例とは

■そのために、あなたがすべき事、またはできる事は何か